

自彊前進

題字 西村直子

NO. 19 令和5年9月8日(金)
新潟大学附属新潟中学校 学校だより
文責 教頭
※ 自彊前進…自ら努め励み、前に進むこと
(校歌3番の文言から)

演劇発表会に向けて

夏休み前から取り組んできた演劇発表会ですが、発表日1週間前になりました。熱中症、新型コロナウイルス感染症対策を行い、各学級、学年の活動は熱を帯びてきています。先週から教育実習が始まりましたが、実習生にとっても貴重な体験となることでしょう。

さて、先日NHKのクローズアップ現代で紹介されていましたが、今Negative Capability「ネガティブ ケイパビリティ」(すぐ解決できない事態に結論を急がず、答えのない状況に耐え迷う、「モヤモヤする力」という考え方が注目されているようです。瞬時に答えがでるチャットGPT等効率性を追求する世の中において、真逆の概念です。新たなアイデアを生み出す創造性にもつながると指摘され、ビジネスや教育、医療などで幅広く活用が進んでいると紹介されていました。「悩みの中にこそ生きる意味がある」という言葉が印象的でした。

当校は行事の多い学校です。どの行事もじっくり時間をかけて実施します。だからこそ、行事当日を『本番』ではなく、『当日』と呼んでいます。『当日』はもちろん大切ですが、その過程にこそ教育的な価値があると考えています。演劇発表会のねらいのキーワードは、「自分再発見」「協働」「創造」です。これまで様々な『モヤモヤ』場面があったことでしょう。どの題材にすべきか、どの場面を扱うべきか、どのような演出にすべきか…挙げたらきりがありません。時には仲間と激論を交わし、多くの時間をかけたこともあったでしょう。でもその過程にこそ意味があり、それぞれの『モヤモヤ』場面にこそ、この行事のねらいに迫るチャンスがあるのだと考えています。

猛暑は少し落ち着いたものの、まだまだ暑い日が続きます。新型コロナウイルス感染症も心配です。今週末は体調を整え、来週に備えてもらいたと思います。学校としても、生徒にとってベストな状態で『当日』をむかえることができるよう熱中症、感染症対策を講じていきます。ご家庭でもお声掛けください。よろしくお祈りします。

～演目一覧～

- 1 学年演劇 『かがみの孤城』
- 2 学年演劇 『君はきっとまだ知らない』
- 3年1組演劇 『明日の僕に風が吹く』
- 3年2組演劇 『The MANZAI』
- 3年3組演劇 『走れメロス』

～演劇活動の様子～

